（様式１）

校　種	（小）・　中 どちらかに○	学校番号	１５	学校名	宇都宮市立泉が丘小学校

令和８年度　学校経営計画

１　教育目標

（１）基本目標

よりよい社会と幸福な人生を切り拓き，未来の創り手となれるように，確かな学力と豊かな心，健やかな体をもち，これからの社会を力強く生き抜くことができる力をもった，たくましい児童を育成する。

（２）具体目標

- 進んで学び，基礎・基本をしっかり身に付ける子　　（ しっかり学ぶ 泉っ子 ）
- 学びをもとに考え，問題解決ができる子　　（ よりよく生かす　泉っ子 ）
- 自分の生き方を考え，誠実で思いやりのある子　　（ なかよく生きる　泉っ子 ）
- 健康や安全に気を付け，元気に生活できる子　　（ 元気でがんばる　泉っ子 ）

２　学校経営の理念　　**「児童一人一人が，みんなと共に生き生きと輝く学校」**を目指す。

- 児童が夢と希望をもち，明るく活気に満ちた学校
- 気持ちのよい環境で，温かい心の触れ合いにあふれ，仲間と共に仲よく学べる学校
- 家庭・地域と連携した教育活動を推進し，信頼される学校

３　学校経営の方針

（１）一人一人を尊重し，人格の形成を目指す学校　〔子供一人一人のよさや個性を大切にしよう〕

一人一人の児童について知・徳・体の調和のとれた成長を促すとともに，個人及び公民的資の伸長を図り，教育目標の具現に努める。

（２）しなやかに生き抜くために必要となる資質・能力を確実に育成する学校

〔日々の授業に最善を尽くそう〕

全ての教科領域で，「基礎的・基本的な知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「学びに向かう力，人間性等」の育成を目指し，「主体的・対話的で深い学び」を通した質の高い教育の充実に努める。

（３）思いや願いを豊かに表現できる学校　　〔明日も来たいと思う学校・学級をつくろう〕

豊かな感性を育て，互いに高め合える学級集団の育成を推進し，いじめ・不登校・集団不適応など，児童指導上の課題解決に努める。

（４）「社会に開かれた教育課程」を実現し，家庭・地域に信頼される学校

〔保護者や地域と共に子供を育もう〕

伝統ある校風を基盤に，児童・保護者・地域の実態や思いを共有し，創造的・計画的に連携を進めて，地域の信頼と要請に応え，公教育の使命を果たすように努める。小中一貫教育の推進にも積極的に取り組む。

（５）教職員が学び続け，生き生きと働く学校　　〔自ら学び，生き生きと働こう〕

教職員としての自覚と使命感を持って，絶えず研究と修養に努めるとともに，自身のライフワークバランスを整え，生き生きと働けるようにする。

（６）業務量管理・健康確保措置の実施

教職員が健康で生き生きとやりがいを持って勤務し，質の高い教育を行うため，下記の目標を掲げ，働き方改革を推進する。

・教員の時間外在校等時間を１か月で４５時間以内，１年間で３６０時間以内
（令和１４年度末）

・児童生徒と向き合う時間を確保できている教員の割合９０％（令和１４年度末）

・時間外在校等時間が１か月８０時間を超える教職員の人数０人を目指す。（令和９年度末）

〔　泉が丘地域学校園教育ビジョン　〕
望ましい人間関係をつくり，進んで学び合う児童生徒の育成～学びの泉　おもいやりの泉　げんきの泉～

泉が丘中・今泉小・泉が丘小の３校が連携・一貫して「学び・共に行動し・鍛える」教育活動に取り組むことにより，３校共通の学校経営の重点である「児童生徒の人間関係構築力」の育成を図り，相互に関わり合いながら「共に学ぶこと」「共に行動すること」「共に生きること」について考えさせることにより，各校における教育課程実践の充実・深化を図る。

４　教育課程編成の方針

（１）　学校教育目標達成のために設定された学校経営の理念及び学校経営の方針，地域学校園の教育ビジョン，今年度の重点目標，今年度の努力点や具体策を踏まえ，全教育課程に意図的・計画的・系統的にその具現化を図るため，教科等横断的な視点に立って編成する。

（２）　児童の学校生活の場として設定している朝の活動，授業時間（各教科，道徳，外国語活動，総合的な学習の時間，特別活動），休み時間（業間・昼休みを含む），給食の時間，清掃の時間を基本的な枠組みとして教育課程を編成し，各教育活動相互の関連とその配置のバランスを図り，時数を確保する。

（３）　年間的な枠組みとしての２学期制をもとに，教育内容の設定と授業・教育活動時間相互の有機的な関連を図る。また，効果的な教育活動の規模等について重点化を図りながら，柔軟性をもたせ，教育活動全体として計画的・機能的で一貫性のある調和のとれた実施計画を作成することにより，学校教育目標の達成を図る。

５　今年度の重点目標（「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○）

（１）学校運営

「『いいね』と『わくわく』がいっぱい！楽しい学校　泉が丘」を合言葉とし，児童・教職員・保護者・地域の人々すべてを組織の一員と捉え，一丸となって誰もが「明日も来たい」と思える学校づくりを推進する。

①　学校ＨＰや学校だより，学年だよりなどを通した，学校経営方針や本年度の重点目標を具現化する取組等の積極的な情報発信と理解推進

○②　泉が丘地域学校園の小中一貫教育，地域の教育資源の積極的な活用による「学校力のさらなる向上

③　日常業務の精選や行事・日課の工夫，ＩＣＴ活用した労力軽減の推進による，教職員が気持ちよく児童や業務に向き合える環境の整備

（２）学習指導

①主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善による確かな学力の育成
②「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な推進
③基礎基本の確かな育成
④教科担任制の推進
⑤教科横断的な視野に立った資質・能力の育成
⑥家庭学習への意欲の向上と習慣化

（３）児童生徒指導

①一人一人の「いいね」を生かす学年・学級経営の充実
②豊かな感性を育む活動の充実
③問題行動や不登校等への組織的対応
④宮っ子心の教育の推進
⑤地域社会・関係機関との連携の強化

（４）健康（体力・保健・食育・安全）

①運動に親しむ資質・能力の育成
②食育・保健指導の充実

③安全教育・校内安全指導の充実・徹底

６　学習指導，児童生徒指導，健康（体力・保健・食育・安全）に関する取組

※　様式２～４参照

７　特色ある学校づくり等に関する取組

（１）育てたい資質・能力

①　進んで学び，基礎・基本をしっかり身に付ける子（ しっかり学ぶ 泉っ子 ）

②　学びをもとに考え，課題解決ができる子（ よりよく生かす　泉っ子 ）

③　自分の生き方を考え，誠実で思いやりがある子（ なかよく生きる　泉っ子 ）

④　健康や安全に気を付け，元気に生活できる子（ 元気でがんばる　泉っ子 ）

（２）具体的取組（提案型予算「頑張る学校プロジェクト」関する取組には文頭に◇）

【しっかり学ぶ　泉っ子】

・「わくわく」のある単元構想や授業展開の工夫

・各教科の見方・考え方を働かせる課題設定

・言語活動の活性化と「書く」活動の習慣化

・見通しをもった学習活動の展開

【よりよく生かす　泉っ子】

・「わくわく」のある探究活動の展開

◇・ＩＣＴ機器や協働学習ツールの効果的な活用

・外国語科，外国語活動を生かしたコミュニケーション能力の育成

◇・幼小連携の推進と架け橋期の教育の充実及び小中一貫教育の推進

【なかよく生きる　泉っ子】

・生活を整える規範意識の醸成　　・あいさつ運動の推進

◇・特別活動の活性化と縦割り班活動（友達ふやそう大作戦）の充実

◇・体験活動，読書活動の推進（ＩＣＣ文庫，読み聞かせボランティア）

・未然防止，早期発見，早期対応のための児童理解

【元気でがんばる　泉っ子】

◇・「楽しく」体を動かす環境づくりの推進

・発達段階や実態に応じた運動量を確保した授業展開

◇・望ましい食習慣の定着と職に対する感謝の念の育成

・個に応じた保健・食育指導

・危険察知能力の育成と安全意識の向上

８　本市の重点施策・事業と関連

（１）地域とともにある学校づくり

（「魅力ある学校づくり地域協議会」との連携・協働を含む）

①基本的考え

学校教育活動の充実と社会に開かれた教育課程の実現のため，積極的に連携を図る。

②主な取組

・地域団体・外部講師・保護者ボランティア等との連携を図ったカリキュラムの実践

・学習や行事への支援・協力，児童の健全育成及び安全確保，潤いのある環境　整備

（２）小中一貫教育・地域学校園

①基本的考え

泉が丘・今泉地区の児童生徒を同じ方向・歩調で育むために連携・協働する。

②主な取組

・小中合同授業力向上プロジェクト

・児童生徒指導強化連絡会及び不登校対策会議の開催

・６年児童による中学校訪問，小６・中１合同「越戸せせらぎ通り清掃活動」

（３）不登校対策

①基本的考え

どの児童にも起こりうることとして捉え，全ての児童に対してきめ細やかな配慮や対応を心掛け，未然防止と早期発見・早期対応に努める。不登校傾向を把握した際は，状況に応じて効果的な対応を組織的に行う。

② 主な取組

・新たな不登校を生まない集団づくり・幼小連携の推進と架け橋期の教育の充実等
・不登校傾向児童等に対する校内支援体制の確立，ケース会議の開催，関係機関・外部人材との連携

（４）ＧＩＧＡスクール構想

① 基本的考え

全ての児童，教職員が端末を文具の一つとして，授業の内外で日常的に活用しながら，「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図り，教育活動等の質的向上を図る。さらには，探究的な学びのツールとなるよう活用を進める。

② 主な取組

・利用の約束の徹底，活用事例資料の年計への位置付け
・プログラミング教育の推進
・家庭学習での活用の推進（ＡＩドリル，Meet　等）
・ＩＣＴ支援員との連携，多様なアプリケーションの効果的活用法の研修　等

（５）宇都宮学

① 基本的考え

郷土宇都宮の歴史や伝統文化，産業などについて，体系的な学習を行うことを通して郷土への愛情や誇りをもち，よりよい社会を創る担い手となるとともに，未来に向かって主体的に生きていくための資質・能力を育成する。

② 主な取組

・社会科と「宇都宮学」を関連付けた授業
・「宇都宮学」副読本などを使用した探究的な学習
・「宇都宮学」の関連施設や場所などを見学する体験的な学習